

## 定置網における太平洋クロマグロの漁獲抑制対策について（話題提供）

海洋資源課 主任研究員 大場隆史

### 1 背景・ねらい

太平洋クロマグロは、我が国をはじめとして北太平洋沿岸の各国で漁獲されている重要な水産資源であるが、近年その資源の減少が危惧されている。クロマグロ資源の回復を目指し、我が国では2018年から、TAC法に基づく資源管理が開始された。これにより、本県の基幹漁業である定置漁業を含め、クロマグロを漁獲する可能性のある全ての漁業で、体重30kg未満の小型クロマグロの漁獲量を、2002～2004年の水準から半減させる等の漁獲抑制措置が実施されている。

定置網は魚類の回遊を待ち受ける受動的漁法であり、特定魚種のための漁獲抑制は難しい。定置網において他の魚種の漁獲を確保しつつ、クロマグロのみを選別して放流する技術を開発するため、2015年に青森県深浦地区で始まった先行研究を皮切りに、2017年から水産研究・教育機構が中心となって、太平洋クロマグロ漁獲抑制対策支援事業（水産庁補助事業）が実施されている。

本県は2019年度からこの事業に参画し、他府県と連携して定置網におけるクロマグロの漁獲抑制対策の開発・検討に取り組んできた。

### 2 概要

本県では、定置網に入網したクロマグロをいったん船上に取り上げてから他の漁獲物と分別・放流するため、三角網、船上選別台およびクロマグロの大量入網時に備えた緊急放流口付き落網の開発と実証に取り組んでいる（図参照）。本発表では、本県で実証中の事例と他府県で現在開発・実証されつつある様々な漁獲抑制対策を紹介する。なお、紹介した事例の最新情報は次のURLを参照していただきたい。

- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所

「定置網におけるクロマグロ漁獲抑制の取り組み」

[http://nrife.fra.affrc.go.jp/seika/kuromaguro/kuromaguro\\_index.html](http://nrife.fra.affrc.go.jp/seika/kuromaguro/kuromaguro_index.html)

### 3 問い合わせ先

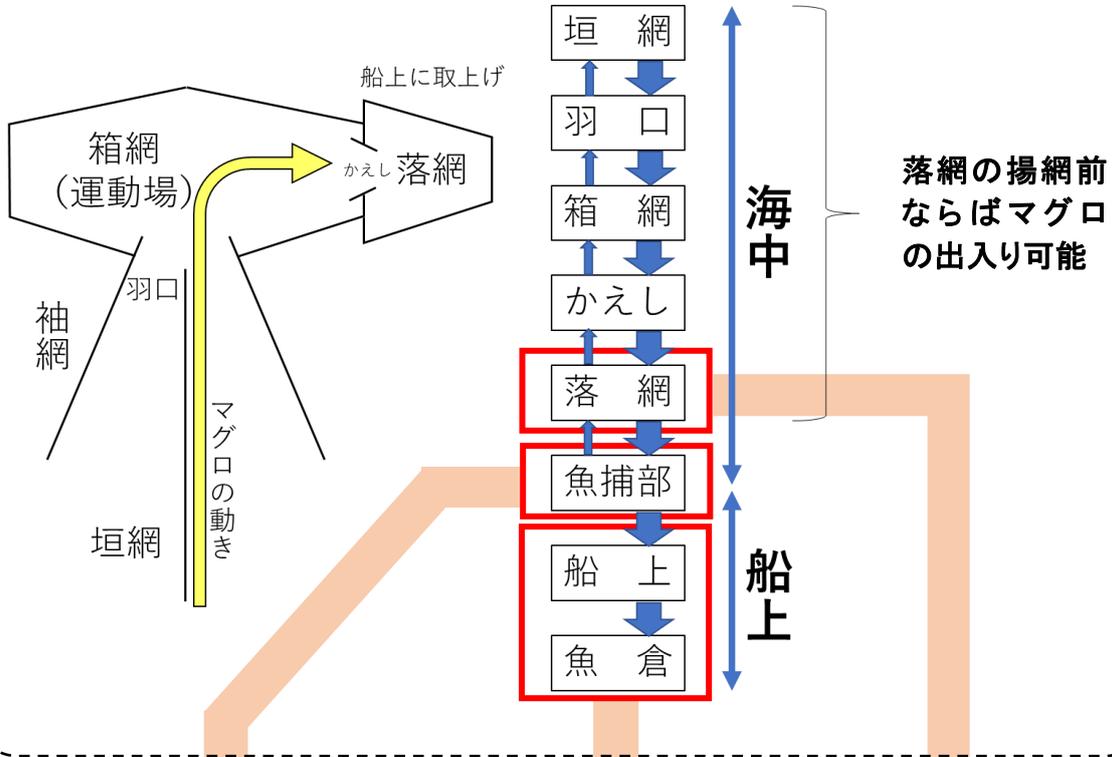
富山県農林水産総合技術センター水産研究所 海洋資源課

担当：大場 隆史

TEL：076-475-0036

(参考) 具体的データ

### クロマグロが定置網に入網して水揚げされるまで



富山県では、落網から船上での抑制対策として以下について実証試験中

#### ○三角網

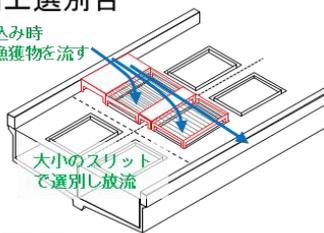


ねらい

大ダモよりも取込み時の魚体ダメージを軽減

#### ○船上選別台

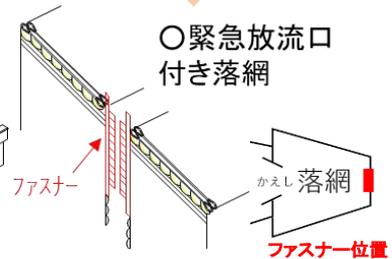
魚倉への取込み時 選別台上に漁獲物を流す



少量入網時への対策

選別台上でスムーズにサイズにより他の魚種とクロマグロを選別して放流

#### ○緊急放流口付き落網



大量入網時への対策

大量入網時 ファスナーを開放することにより放流